

130207 シメ

葉を落とした木の高いところで、ぼつんととまっている野鳥がいました。

体長は20 cm弱と「スズメ」よりは大きくて、**ずんぐり**した体つきで大きなくちばし、よく見ると何か目つきが悪く、**怖そう**な感じです...

この鳥は、北の国からやって来る**冬**の使者、「**シメ**」です！

何やら変わった名前ですが、「シー」と聞こえる鳴き声に、鳥を意味する接尾語の「メ」を付けた、というのが命名の理由との説もあるようです。

北海道では繁殖しているそうですが、多くは冬季に、はるばる**シベリア**方面から海を渡って、落葉広葉樹林や雑木林などの明るい林にやってきます。

市街地の公園や庭にも訪れることがあります。

太っているせいか、飛び立つのも面倒くさそうで、何やら**ふてぶてしさ**さえ感じるのですが、妙に憎めないところもありそうですね。

カエデやムクノキ、エノキ、ヤマハゼなどの実を好んで食べていますが、硬い種を割って食べることでできる大きなくちばしは、何と30 kgもの力が出るそうです...

繁殖期には柔らかな昆虫を食べたり、ヒナに運んだりするようですが、こんなに逞しいくちばしでは、ソフトにつまむこともできず、うまくヒナのところまで届けることができるかどうか...、心配になりますね。

いずれにせよ、あまり「可愛げ」を感じることはできませんので、「**玄人好み**」の種である、と言えるかも知れません...





